

質問通告・内容一覧表

議会傍聴者用

質問順	質問議員	通告の標題・内容
1	畑 久雄	<p>◎ 交通安全旗の掲揚について</p> <p>町で交通安全旗を作成しているが、大型車の交通量が多い道路に殆ど設置されていない。</p> <p>東瓜幕行政区では自己負担で自宅前に交通安全旗を設置し、事故防止に努めている。</p> <p>郊外の幹線道路に安全運転を促す努力が必要と考える。</p> <p>(1) 年間の作成枚数は。</p> <p>(2) どこがどのように運用しているか。</p> <p>(3) 危険な場所に設置する考えは。</p>
2	加納 茂	<p>◎ 開町 100 年、これからの町のビジョンについて</p> <p>町は産業の発展、教育の質の向上等、時代の求める姿に変貌を遂げてきた。これは歴代指導者の弛まぬ努力と指導の結果であると思う。</p> <p>これからの 100 年について、町のビジョンをどのように描いていくのか。</p>
3	清水浩徳	<p>◎ 自転車を活用した観光地域づくりについて</p> <p>近年、自然とグルメを満喫するサイクルツーリズムが地方創生・雇用創出に繋がる兆しがある。</p> <p>北海道観光を楽しみたいロードバイカーたちからは、気候・道路状況等がサイクリングに最適と言われている。</p> <p>十勝でも「トカプチ 400」がナショナルサイクルルートに指定されているが、これを活用し、観光事業を振興する考えは。</p>

質問順	質問議員	通告の標題・内容
4	川染 洋	<p>◎ 水道管石綿セメント管の取替えについて</p> <p>石綿被害が言われてから久しくなった。</p> <p>町の水道管にも石綿が使用されており、大部分は取替作業が完了しているが、一部は現在も使用されていると聞く。</p> <p>石綿の吸引による被害は実証されているが、飲用水としての被害データは少なく、今のところ無害とされている。</p> <p>石綿セメント管は衝撃に弱く、破損時には破片が水道管に流れ出ることが想像できる。</p> <p>(1) 石綿セメント管を水道管として利用する是非についての考えは。</p> <p>(2) 石綿セメント管の取替作業計画はどうなっているか。</p> <p>(3) 漏水の原因となっていないか、その調査をしたことがあるか。</p>
5	上嶋和志	<p>◎ 鹿迫型ゼロカーボン実現に向けて</p> <p>地球温暖化は温室効果ガスの排出量が増えたことが原因とされている。</p> <p>鹿迫においても温暖化を実感する気象状況になってきているなか、町は今年3月の議会定例会で2050年の二酸化炭素実質排出量ゼロを目指す「鹿迫型ゼロカーボンシティ宣言」を行なった。</p> <p>(1) ゼロカーボンは、二酸化炭素排出量と森林等による吸収量を差し引いたものをゼロにするというものだが、町の排出量と吸収量の状況は。</p> <p>(2) 二酸化炭素排出削減が困難な部分をクレジットとして購入して埋め合わせるカーボン・オフセットがあるが、炭素クレジットを売り手側として活用する予定があるか。</p> <p>(3) 農地で作物を栽培しない時期に作物を栽培してすきこみ、炭素クレジットとして販売した例が紹介されていた。</p> <p>また、不耕起栽培等で土壌にCO₂を貯留することにより吸収源となりうるという研究があるが、町はどう考えるか。</p>

質問順	質問議員	通告の標題・内容
6	安藤幹夫	<p>◎ 協働のまちづくりを</p> <p>町は「鹿追町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき施策を進めているが、人口減少や少子高齢化が進む中、地域住民が主体となった取組が必要になる。</p> <p>地域課題を共有して解決方法を検討・決定するための「協議機能」と地域問題解決に向けた取組を実践する「実行機能」を併せ持つ「地域運営組織」をつくることにより、住民の暮らしを守る活動ができると考えるが。</p> <p>また、「協同労働」という新しい働き方として、2022年4月に施行予定の「労働者協同組合」に関わる規則を整備し、課題を克服することにより、人口減少問題や新型コロナウイルス感染症の影響で脆弱化した地域を立て直すことが期待されると思うが。</p>
7	台蔵征一	<p>◎ 鹿追らしさのある町づくりはどこまで進んでいるのでしょうか</p> <p>(1) 町全体を観光地と位置付け、道の駅やサイクルロードで多様な交流を目指すなか、国が指定するナショナルサイクルルートに「トカプチ400」が選ばれた。</p> <p>初心者や観光客も楽しめるルート設定をすることにより観光振興につながる。</p> <p>鹿追らしいルートづくりが必要と思うが、どこまで進んでいるか。</p> <p>(2) 少子化が進み、保育所及び小・中学校の統廃合が視野に入ってきた。具体的な方向性を出す必要性があるが、町民を巻き込んだ協議はどう考えているか。</p> <p>(3) 町は鹿追高校存続のために様々な支援をしている。遠方の生徒確保も検討する中、自然体験留学制度では少しずつ移住者が増え、地域の活性化に大きく貢献している。</p> <p>鹿追高校生確保のために、自然体験留学と連携した制度が必要と考えるが。</p>

質問順	質問議員	通告の標題・内容
8	山口優子	<p>◎ 「G I G Aスクール構想・1人1台タブレット端末」利用実態の把握を</p> <p>G I G Aスクール構想等により、町でも小中高全ての児童生徒にタブレット端末が貸与されている。</p> <p>導入後、たくさんのメリットもあるが課題も見えてきた。</p> <p>(1) 目的外・不適切・長時間使用や有害サイトへのアクセス等の利用実態やアクセス履歴をどのように把握しているか。</p> <p>(2) タブレットの利用は各家庭のルールに任されているが、ネットやパソコンに詳しくない保護者からは戸惑いの声も寄せられている。保護者に対して丁寧な説明やリーフレット作成、タブレット利用方法に関しての相談窓口等も必要と感じるが。</p> <p>(3) 利用実態の調査や把握をすることと、保護者のニーズも把握したうえで今後のよりよい環境づくりに役立てる考えは。</p>
9	狩野正雄	<p>◎ 看板等の表記について</p> <p>鹿追町開町 100 年記念事業として建立・設置された記念碑や拓殖鉄道の駅名看板について。</p> <p>(1) 本町開拓の重要交通機関を担った拓殖鉄道の駅名看板が瓜幕及び東瓜幕の旧駅跡地に設置されたが、表記内容が歴史記録と違うのは何故か。修正する必要はないか。</p> <p>また、ここに看板を設置しなければならなかった理由は。</p> <p>(2) 町では行財政改革を進めているが、費用対効果・調査・住民要望等を数値化する等して事務事業を進めるべきと考えるが。</p>
10	埴淵賢治	<p>◎ 人に優しい役場庁舎としてエレベーターの設置機能充実について</p> <p>役場庁舎は、改修工事は行なったが費用の面からエレベーターは設置していない。</p> <p>役場庁舎の3階研修室では、土日祝日を除くと2日に1度は会議が開催され、住民も足を運んでいる。</p> <p>研修・会議が多いことを重視し、機能を充実させるため、エレベーターの設置が必要と考えるが。</p>